

科目	人体の構造と機能 V 演習				
時間数	1 単位 16 時間	授業方法	演習	授業時期	1 年
講師名	②石川信子 ②高橋美由紀 ③和田智恵子				
実務経験	②助産師(医療機関)				
ねらい	人体の構造と機能を、人間の生活行動と関連づけて理解するとともに、その異常状態としてどのような症状が出現するのかを学ぶ。				
目標	1.生活行動と生命を維持するということに関連づけ、看護の視点からからだのしくみを説明できる。 2.からだのしくみのどの部分に不具合が生じて症状(呼吸障害、循環障害、消化・吸収障害、運動障害、意識障害)が発生するのかがわかる。				
授業計画					
回	内容				
1	栄養の消化と吸収 ・消化管の構造と機能 ・消化管に付属する臓器人体の構造(解剖)と機能(生理)とは				
2	呼吸と血液の働き ・鼻から肺の位置と構造と機能 ・血液の構成と機能				
3	血液の循環とその調節 ・心臓の位置と構造と機能 ・リンパとリンパ管				
4	体液の調節と尿の生成 ・腎臓の位置と構造と機能 ・排尿路 ・体液の調節				
5	内蔵機能の調節 ・自律神経の機能 ・全身の内分泌腺と調節、フィードバック				
6	神経系の構造と機能 ・中枢神経 ・末梢神経				
7	感覚機能と上行伝達 特殊感覚－視覚、聴覚、平衡覚、味覚、嗅覚 生体の防御機能				
8	細胞→ 組織→ 器官→器官系 器官系の種類と体内の位置関係				

9	骨格系 骨の役割と名称
10	筋系 筋肉の働き 種類 主な筋肉の名称
11	生殖系(女性・男性) 子孫をのこす仕組み 老化
12	テスト、まとめ、振り返り
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験及び平素の学習状況を総合して評価する。 60点以上を及第点とする。
教科書	人体の構造と機能①解剖生理学:医学書院 『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック:医学書院